

平成30年8月24日（金）9：50～15：50 場所：放射線医学総合研究所

講師：放射線医学総合研究所の研究者の皆様



## 放射線医学総合研究所研修棟にて一日のガイダンス



### 午前中の講義は中・高別れての講義「放射線の基礎知識」



### 別室での実験の様子をLive中継

### 空気中の放射性物質を捕まえる



### 実習「放射線を見てみよう」霧箱の作成



### 午後の講座

### 放射線の医学利用

### 新治療研究棟の見学

#### 【受講生の感想より】

今日「新治療研究棟」で最先端技術の粒子線を用いた医療機器を見て、その大きさと聞いた話からとても苦難を乗り越えて作ったものだと思います、技術者のすごさに気づいた。放射線に関する興味がとても沸いた。



### 分子イメージング棟の見学

#### 【受講生の感想】

- 普段なかなか見られない施設を見学できて楽しかった。カバーなしの機械も見られたのはラッキーだった。霧箱は小さい飛行機雲が何個も出てるようで幻想的だった。食べ物にまで放射能があるとは知らず、これからの学習の良い予習となった。4月の一般公開にも行ってみたい。
- 霧箱というもの初めて知って、実際に放射線の飛跡を見ることができて面白かった。放射線の壊変のときのエネルギー変換などが物理の法則にのっとって、本当にそういった法則を見つけてきた昔の科学者たちはすごいと感心した。科学が研究されてから2000年以上経つのに放射線医療は研究が始められてから100年も経たない新しい研究で、それでもたくさんのことが発見されて、ものすごく発展していて、がんが完全に治る時代も速くないのだとわかった。
- 今回の講座で放射線はそんなに怖がらなくてよい存在だと知った。むしろ放射線が医療や工業、農業といった幅広い分野で活用されていてすごいと思った。ただ、放射線を間違った使い方をしてしまったら、命を奪ってしまう可能性もあるので、やはり放射線だけでなく科学を扱う時にはしっかり知識と技術を身につけてから、挑むことが大切だなと思った。